

サトイモ疫病の発生について

1. 令和3年7月12日、八街市内でサトイモ疫病の発生を確認しました（昨年の残さイモから発生し、近くの本ほにも感染）。



褐色円形で、白い遊走子のうが特徴



風通しの悪い箇所から初発生

写真1：葉の病斑（撮影は令和2年）

写真2：昨年の残さイモからの発生

2. 初発生条件

- ・平均気温 25℃+まとまった降雨が目安
⇒7月6日に 24.5℃、10日に 26.5℃+7月上旬の長雨
- ・**風通しの悪いところから発生する傾向があります。**
- ・葉や葉柄に発病して、**風雨により一気に拡大します。**

3. 防除について

- ・**早期防除が重要**です。感染初期の治療効果が高く、予防期間も長い **ダイナモ顆粒水和剤**から散布し、収穫前日数に余裕がない場合は **アミスター20フロアブル**を散布しましょう。
- ・株元までかかるように、1回の防除で**薬液をたっぷり**散布しましょう。
- ・昨年の残さなど、**野良生えのサトイモは発生源となりやすい**ので処分しましょう。

表1：サトイモ疫病に登録のある主な農薬

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	散布液量	効果
ダイナモ顆粒水和剤	2000倍	収穫21日前まで	3回以内	100～300ℓ/10a	予防・治療
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	100～300ℓ/10a	予防・治療
ペンコゼブ水和剤※	500倍	収穫7日前まで	2回以内	100～300ℓ/10a	予防

※**ペンコゼブフロアブル**は**未登録**なので注意してください

適切な防除を実施して地域全体で蔓延を予防しましょう。